

道内各地にブラックアイスバーン出現！ 峠で、橋で、カーブで、スリップ事故多発！

夕暮れ・夜間 歩行者、自転車の事故防止

～ 点灯せ！ 生死を分ける ハイビーム ～

- スピードダウンと安全確認を徹底しましょう
- 早めのライト点灯とハイビームの活用を励行しましょう
- 横断歩道以外の場所でも、歩行者が横断することを意識しましょう

「かもしれない」で備える 交差点事故防止

「自転車」と「歩行者」を見かけたら…「かもしれない」運転を

◆ 交差点・バック事故 止まらず ◆

- STOP！ 交差点事故 (前方不注意と車間距離)
- STOP！ バック事故 (特に、構内・駐車場・現場内)

要注意 危険がひそむ 交差点

◇ 交差点 右左折時は、確認を徹底しよう◇

◇ 歩行者・自転車への注意を、徹底しよう◇

◇ 追突事故・バック事故を、根絶させよう◇

車間距離を十分に！ 追突を未然に防止

構内も停止するまで、運転中

24秒に1人、年間135万人が交通事故死 5～29歳の子ども・若者世代の死因第1位

2018/12/7(金) 18:44

世界保健機関(WHO)は7日、世界で年間135万人が交通事故で死亡している最新報告書を発表。この数字は、24秒に1人が交通事故死していることを意味する。交通事故の年間死者数は直近の3年間で約10万人増加し、今や5～29歳の子ども・若者世代の死因第1位となっている。

旭川 踏切事故 回送列車と軽乗用車衝突

踏切の遮断機は下り、警報機も鳴っていた

「前を見ておらず、踏切に気づくのが遅れた」

普通列車1本が運休し、同社は乗客約20人をタクシーで輸送

◇ 踏切手前 確実な『一旦停止』、左右の安全確認、先詰まりに注意◇

2018/12/07 09:57

6日午後9時25分ごろ、旭川市東旭川町下兵村のJR石北線の踏切で、男性(23)の軽乗用車と回送列車(1両編成)が衝突した。男性は腕や腰を打撲する軽傷を負った。列車の乗員にけがはなかった。JRによると、事故当時、踏切の遮断機は下り、警報機も鳴っていた。旭川東署によると、男性は「前を見ておらず、踏切に気づくのが遅れた」と話しているという。この影響で普通列車1本が運休し、同社は乗客約20人をタクシーで輸送した。

バックしてきた車にはねられ、意識不明の重体

◇ バック時は、一度の確認だけでなく、もう一度確認しましょう◇

◇ バックは…『カメが歩くスピードの気持ちで！』◇

2018/12/7(金) 19:42

7日午前8時半ごろ、長野市の交差点で、歩いていた女性(72)がバックしてきた軽乗用車にはねられ、意識不明の重体となっています。軽乗用車を運転していた男性(78)にけがはありませんでした。

午後5時 下校途中の小1男子児童(7)

軽ワゴン車にはねられ、意識不明の重体

◇ 薄暮時間帯・夜間、ヘッドライトは、『遠目(ハイビーム)』が基本…早期発見で事故防止◇

2018/12/7(金) 23:22

7日午後5時ごろ、愛知県の路上で横断中の下校途中の小学1年の男子児童(7)が軽ワゴン車にはねられ意識不明の重体です。警察は軽ワゴン車を運転していた48歳の会社員の男性(48)から話を聴くなどして、詳しい事故の原因を調べています。